



◎作業改善レポート
株式会社 SYSKEN 様

◎テクノレポート
狭小な現場で威力発揮！
2tシャシー高所作業車
「スカイマスター-SN13A1FS」
株式会社 トーエネット 様

高所作業車上を移動する際の転落を防止！
「アシストレール」
株式会社 ユアテック 様

◎私の通信簿
株式会社 光和電設
代表取締役 荒明 様
(宮城県亘理郡)

◎災害シミュレーション
高所作業車の作業中に発生した、
はさまれ・巻き込まれ事故



◎特集インタビュー

社会貢献がビジネスを育てる

「パンの缶詰」がビジネスを生み社会を変える！

秋元義彦氏

株式会社パン・アキモト 代表取締役

救缶鳥
Project from Japan
Kyu-Can-Cho
プロジェクト

救缶鳥
Project from Japan
Kyu-Can-Cho
プロジェクト

救缶鳥
Project from Japan
Kyu-Can-Cho
プロジェクト

救缶鳥
Project from Japan
Kyu-Can-Cho
プロジェクト

救缶鳥
Project from Japan
Kyu-Can-Cho
プロジェクト

救缶鳥
Project from Japan
Kyu-Can-Cho
プロジェクト

救缶鳥
Project from Japan
Kyu-Can-Cho
プロジェクト

救缶鳥
Project from Japan
Kyu-Can-Cho
プロジェクト

救缶鳥
Project from Japan
Kyu-Can-Cho
プロジェクト

救缶鳥
Project from Japan
Kyu-Can-Cho
プロジェクト

社会貢献がビジネスを育てる

「パンの缶詰」が ビジネスを生み社会を変える!

あきもと よしひこ
秋元 義彦氏 株式会社パン・アキモ 代表取締役



70年前に生まれた栃木県那須塩原市の小さなパン屋が「パンの缶詰」という、地震大国日本には欠かせない災害備蓄食料を誕生させました。さらに、それを発展させるかたちで社会貢献を上手にビジネスとつなげた「救缶鳥プロジェクト」を推進し、今、注目を浴びています。創業者から続くボランティア精神を見事ビジネスとして開花させた2代目社長の秋元義彦氏に、ニッチに特化した、小さな企業でもできるCSR(企業の社会貢献)について伺いました。

町の小さなパン屋さんが生んだ 地震国の必需品

熊本地震の際に支援してくれたお礼に、
くまモンが御社を訪れたそうですね。

熊本から人気者のくまモンがはるばるやって来てくれて、社員一同大喜びでした(笑)。私たちは震災直後から「パンの缶詰」を避難所に送り続け、総量は2万食を超えました。社員たちが自ら運転して栃木県から熊本県まで運び、現地で多数の被災者の方に喜んでいただき、感激もひとしおでした。ただ、この2万食の「パンの缶詰」はわが社が無償で提供したものではなく、「救缶鳥プロジェクト」という、世界中の困っている国や地域へ「パンの缶詰」を送る義援活動に皆さんが賛同し、ご協力いただいた結果の産物です。私どもはこれらの企業や学校の方々に、まず感謝しなければならないと思っています。

今年で創業70周年を迎える町のパン屋さんがなぜ、缶詰入りのパンを開発されたのか。まずはその経緯から教えていただけますか。

きっかけは1995年に起こった阪神・淡路大震災です。実はパン・アキモを創業した私の父は熱心なクリスチャンで、「みんな困っているだろうから、神戸の教会に焼きたてのパンを送ろう」という話になりました。そこで2000食ほどのバターロールや食パンなどをトラックに積み込んで、その車を各地の教会関係者がリレー形式で運転して神戸まで届けました。しかし、そこまで苦勞して運んだパンだったのですが、消費期限までに食べきれず、そのうちの約3割は廃

棄せざるを得なくなったのです。

私は大学卒業後、2年間東京のパン店で修行して、それ以降はずっと父親の元でパン職人として働いてきました。自分たちが作ったパンがこれほどたくさん、一度に捨てられるという経験は私にとって初めてのことでした。一方で、被災地の方からは「おいしくて保存性のあるパンはできないのか?」という切実な声が耳に入っていました。これは、パン職人としては放っておけない。長期保存が可能で、焼きたてみたいにつくらとした、誰もがおいしいと言ってくれるパンを作ろう、と研究を始めました。そして、1年半後ようやく「パンの缶詰」を発売することができました。

とてもユニークな商品ですが、当初から注目されたのでしょうか。

「カンカンブレッド」と名付けて売り出したのですが、悲しいかな、最初は全く売れませんでした。通常のパンを卸していた、土産物屋さんなどをお願いして、無理に置かせてもらっていたくらいです。この風向きが大きく変わったのが、2004年に起こった新潟県中越地震でした。私自身、「パンの缶詰」を携えて現地に入りましたが、一部の自治体でも災害用に自分のところで備蓄していた「パンの缶詰」を放出して、支援に回していました。すると、ニュース映像で、避難所に山積みになったパン缶が嫌でも毎日目に入るようになったのです(苦笑)。実際、学校給食もパン缶、支援に入った関係者の昼ごはんもパン缶と、現地でパン・アキモの「パンの缶詰」は必需品となっていました。お陰さまで、ここで「パンの缶詰」のおいしさや便利さ、有用性がメディアを通して全国に伝わり、一気に認知度が上がりましたね。

当時、わが社の生産能力は1日5000缶(1缶・1食分)くらいだったと思いますが、それからは注文が殺到して4~5カ月たないと納品できない時期がしばらく続きました。そこで沖縄に工場を新設。現在もここ那須塩原の本社工場と沖縄にある工場の2カ所です。「パンの缶詰」を製造しています。年間の生産量は300万缶を少し切るくらいでしょうか。今では通常のパン販売を大きく上回り、当社の売上高の7割を占める主力商品となっています。



那須塩原市民に広く親しまれている石窯パン工房「きらむぎ」

長期保存できてふわふわのパン 相反する2つのテーマを克服する

現在、「パンの缶詰」には
どんな種類があるのですか。

「おいしい備蓄食シリーズ」など、定番の商品が13種類。他にOEMで生産するものまで含めると、全部で25種類ほどあります。保存期間は最長のもので37カ月、約3年です。この3年という期限は缶の保証期間に合わせたもので、実際パン自体は3年以上、保存が利くものになっています。味はオレンジやストロベリーなど、甘めの菓子パン的な商品がメインです。今後の課題としては、少々期間は短くなりますが、カレーパンや惣菜パン的な、食事の代わりになるようなものも開発したいと考えています。最近では備蓄食料として購入されるお客さまだけでなく、缶のラベルを自由にデザインできることもあって、企業のノベルティとしてもよく活用されています。



「世界にパンを届けよう」を合言葉にスタートした「救缶鳥プロジェクト」



ビジネスと社会貢献とを上手に組み合わせ、様々な取り組みを進める秋元社長

誕生までには大変な苦勞があったのではないですか。

いや、それほど苦勞したという感覚はありません。パンづくりはとても楽しいですね。生地にもいろいろな工夫ができますし、トッピングする食材や形をちょっと変えるだけで、世界でたった1つしかないパンができて上がります。私は名刺に印刷してあるように、便宜上「代表取締役なんでも係」を自称していますが(笑)、実は「生涯、いちパン職人でいたい」というのが本音です。「パンの缶詰」も、店頭に並ぶ新商品を開発するくらいの気持ちで楽しく取り組みました。

ただ一つ、苦勞した点を挙げるとすれば、備蓄に用いられる食品に、ふわふわ感やしっとり感といったパン特有の風味をどう出すか、ということでした。というのも、保存食として一般的な乾パンは、水分を極力取り除くことでカビや腐敗を防いでいるわけです。私たちが目指したものは、この乾パンの発想とは全く逆で、ふわふわ感やしっとり感を演出する水分を残したまま、しかも常温で長期保存できるパンです。ある意味、常識を覆すものでした。

そこで、缶詰に目を付けられた。

はい。当初はできたてのパンを真空パッ

クで包装してみたり、一度冷凍したものを戻してみたりと、いろいろと試したのですが、期待する焼きたて感は全く得られませんでした。

そんな折、近くの缶詰工場を見学する機会がありまして、これだ！とひらめきました。パンの生地を缶詰に入れた直後に加熱すれば、パンの焼き上がりど殺菌が同時にこなせるのではないかと思ったのです。しかし、これもそう簡単には行きませんでした。缶ごと加熱すると、パンの生地に含まれる水分が缶の中で結露したり、缶にパンが付着したりして、きれいに焼き上がりません。最終的には、吸湿性と耐熱性のある特殊な紙でパン生地を包むことで、この問題を解決できました。

2009年には、宇宙飛行士の若田光一さんが国際宇宙ステーションに「パンの缶詰」を持参。その高い品質が実証されました。

翌年には山崎直子さんも評判を聞きつけ、宇宙へ持って行ってくださいました。若田さんが持ち込んだ時は、クルーの間で取り合いになるほどの人気だったと聞きましたから(笑)、その味や風味にも合格点をいただいたと思っています。何よりアメリカで最も厳しいと思われるアメリカ航空宇宙局

(NASA)のチェックをクリアし、スペースシャトルに持ち込めたことが、私たちにとっては大きな自信となりました。

これはパン缶の話ではないのですが、パン・アキモトでは「コンロールプラン」という糖尿病の患者さん向けのパンを2011年に製品化して、販売させていただいております。今までもそんなパンはあるにはあったのですが、医療食で味は二の次。それを「おいしい!」と患者さんに喜んでもらえるように開発したのが「コンロールプラン」です。この医療食で、なおかつおいしい「コンロールプラン」の開発は、「乾パンのように保存性があながら、ふわふわとしておいしいパン」という二律背反したテーマを克服した「パンの缶詰」の成功なくしてはあり得ませんでした。パン缶も「コンロールプラン」も、ニッチな市場ではあるのですが、パン・アキモらしい、特色がよく出ている商品だと自負しています。

“救缶鳥プロジェクト”で社会貢献をビジネスへつなぐ

「パンの缶詰」の特性をうまく生かした“救缶鳥プロジェクト”について教えてください。

「パンの缶詰」は3年経過すると、ゴミとなって廃棄される運命です。こんな災害備蓄食料の賞味期限切れによる廃棄量は、全国17の都道府県や政令指定都市だけで過去5年で176万食にも上るという報道が昨年もありました。本当にもったいないですよね。備蓄食料ですから、食べられなければ、それはそれで何事もなかった証ではあるのですが。しかし、パン職人の私としても、作ったからには本当は誰かに食べてもらいたい。そんなモヤモヤとした気分を抱いている時に、スマトラ沖地震の津波被災地であるスリ

ランカで日本語学校を経営する知り合いから、「地震が起こったから、中古でもいいからパンを送ってくれ」という連絡が来ました。そこで「捨てられる前のものを集めて送ってあげればいい」と、ハタと気づいたのです。

海外に送るのは懇意にしているNGOに任せれば大丈夫です。問題は期限切れ前の「パンの缶詰」を誰がお客さまから回収するかということでした。小さな会社ですので、私たちに到底そんな余力はありません。そこで大手の宅配業者さんに相談して、荷物を届けた帰りの空になったトラック便を活用してパン缶を安く回収してくれないか、とお願いしたのです。最初は驚かれましたが、宅配業者さんとしても空で帰りのトラックを走らせるよりはよいですし、企業の社会貢献の一つとして、最後は快諾してくださいました。

「パンの缶詰」を防災グッズとして購入してくれたお客さまにはどんなアプローチをしたのですか。

「購入していただいたら、2年後を一つの目処に回収に伺いますので、ご協力を」と、お願いにあげました。通常、“救缶鳥プロジェクト”として提供している「パンの缶詰」は1缶・2食分で価格が約800円なのですが、再購入の場合は102円引きで提供しています。災害に備えながら社会貢献ができるとあって、今は多くの企業や自治体、学校などに協力いただいています。

“救缶鳥プロジェクト”は2009年から始動しています。現在「パンの缶詰」は年間200

万缶ほど売り上げていますが、そのうち“救缶鳥プロジェクト”の対象となっているのは30万缶ほどです。これまで日本はもちろん、ハイチ地震やスマトラ沖地震の被災地をはじめ、ジンバブエやコンゴの貧困地域など、世界十数カ国への援助実績があります。将来的には8割のお客さまが8割の回収に応じていただけるとして、10万缶を販売し6.4万缶が戻ってくる。そんなレベルまで“救缶鳥プロジェクト”を発展させたいと考えています。そうすれば常にストックを抱えることができるので、より有効な義援活動が可能になります。

義援の“見える化”にも力を入れていらっしゃいますね。

はい。“救缶鳥プロジェクト”に協力していただいた企業や学校には、提供してもらったパン缶がどこに届けられ、どう活用されたか、NGOからパン・アキモトが写真も交えた報告を受け、それをホームページ上や定期的に発行する冊子の「救缶鳥ニュース」などで必ず皆さんにフィードバックするようにしています。そうすれば、企業ではこれを自社のホームページ上で紹介したりして、CSRの一つとしてPRできる利点もあります。一方、とある学校では、入学と同時に学生一人ひとりが備蓄用としてパン缶を購入。卒業を間近に控えた時期にそれを回収、支援に回すことで、「自分のやっていることが世の中の役に立っている」という実感を持ってもらう、社会貢献教育の良い機会となっているようです。これからも義援の“見

える化”をさらに推し進めることで、“救缶鳥プロジェクト”に賛同してくれる人々や企業、学校を増やしていければと思っています。

“救缶鳥プロジェクト”はどんな企業でも社会貢献がしっかりできる。その見本となるような、うまく考えられたシステムですよね。

ありがとうございます。お陰さまで、“救缶鳥プロジェクト”は「防災備蓄と国際貢献をうまくリンクさせた」と高い評価をいただいています。私たちみたいな地方の小さな会社が社会貢献しようと思うと、コスト面など、難しい点が多々あります。それに関わらず、子どもの“救缶鳥プロジェクト”が曲がりなりにも軌道に乗っている要因は、社会貢献一辺倒の姿勢ではなく、ビジネスセンスを応用して、問題解決に取り組んだ結果だと思います。

実は昨年、「アキモト・リマインダーサービス」という、災害備蓄食料の賞味期限を通知するサービスを開発、提供を開始しました。これはわが社の製品だけでなく、他社製品も含め最大9つの備蓄食料を登録でき、それぞれ賞味期限の半年前になったらメールで通知するというものです。このサービスを活用していただければ、賞味期限切れで廃棄せざるを得ない備蓄食料が減りますし、うっかり忘れていてイザという時に役に立たない食料を抱えているということもなくなります。社会の困り事をビジネスセンスで解決し、社会貢献につなげる。これもその一例だと思っています。



PROFILE
プロフィール

秋元 義彦 あきもと よしひこ

栃木県那須塩原市にある「パン・アキモト」の代表取締役。
1953年同地生まれ。法政大学卒業後、東京・永福町にあるパン店で2年間の修行を積み、同社の前身である秋元ベーカリーに入社。1996年、阪神・淡路大震災での経験を基に、非常食として備蓄でき、しかも焼きたてのパンのようにおいしく食べられる「パンの缶詰」を開発・発売する。2009年より、「パンの缶詰」を賞味期限の1年前から回収し、世界の被災地や貧困地域に義援品として送る“救缶鳥プロジェクト”を推進。この町のパン屋のユニークな社会貢献活動は、多くのマスコミに取り上げられている。2017年1月には「パンの缶詰」のアメリカでの製造・販売が決定した。



慎重な作業が必要な充填工程(左)。シール貼り工程では製品の確認も行う(右)



**世界へ広がる
パン・アキモのDNA**

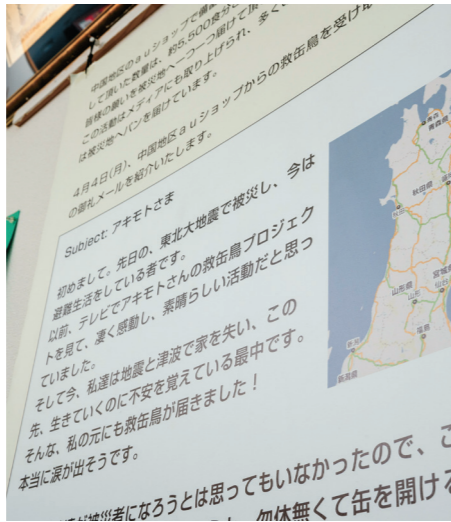
**今年1月、アメリカへの本格的な進出を
発表されました。**

2月からサンフランシスコのパン店に委託した「パンの缶詰」の現地製造とテスト販売を始めています。米国食品医薬品局 (FDA) の認可も近々取る予定です。また、個人や企業のボランティア意識が日本より高いアメリカですから、ゆくゆくは「救済鳥プロジェクト」も導入したいと計画しています。

アメリカの家庭にはどこにも大きな冷蔵庫があり1週間分の食料を保存できるといった生活スタイルの違いもあり、アメリカ人は備蓄食料としての「パンの缶詰」に、日本ほど関心を示さないと考えています。しかし、キャンプなどのアウトドアを好む人が多いので、別の意味で需要は十分見込めるのではないのでしょうか。リサーチを進めると、ハンティングをする人たちは熊に襲われる危険性があるため、匂いのする食料の持ち運びは極力しないという、おもしろい事実も見えてきました。その点でも、パン缶は受け入れられる素地がありそうです。何よりも、「缶に入ったパンなんか食べられるか!」と最初否定的だった人が、一度パン缶を口に運ぶと、誰もが「おいしい」とびっくりしてくれたことが励みとなっています。アメリカでも「パンの缶詰」の有用性を証明したいですね。

**海外進出では、ベトナムにもパン店を出
店されていますね。**

はい。ダナンに「ゴチパン」というお店を2015年に出店しました。日本語の「ごちそうさま」から名付けられた店名で、こちらは普通のパン店です。実はこの店、創業者の父の想いを現実させたものなのです。というのも、父は戦争中、アジア各地を回った経験があり、ずっと自分なりの償いをしたいと思っていたんですね。実際40年前には、わが社でパンづくりの修行をした後、中古の機械を持ち帰り、地元で店をオープンできるように、アジアの国々からの研修生の受け入れを許可してくれるよう外務省や通産省(当時)と掛け合ったことがありました。当



東日本大震災、熊本地震への支援を行い、現地からたくさんの感謝の声が寄せられている



時は法律的に無理ということで、泣く泣く断念せざるを得ませんでした。

今はこのような小さなパン屋でも実習生の受け入れが可能になりました。そこで、彼らが修行をして、「こんな店を持ちたい」という目標となるようなお店をダナンに作ったというわけです。現在わが社ではベトナムからやってきた3人の実習生が朝早くから一生懸命働いてくれています。「ゴチパン」みたいな目標が具体的に目の前にあれば、彼らのモチベーションも高くなります。近い将来、パン・アキモのDNAを継いだパン屋がベトナムで繁盛してくれば、うれしいですね。これも長い目で見れば、父の遺志を継いだ社会貢献の一つだと思って頑張っているところです。

**社会貢献といえば、東日本大震災以来、
東北支援も欠かさず続けていらっしゃいま
す。どんな支援をされているのですか。**

私自身は月に1回は必ず、「パンの缶詰」やラスクを持って東北地方へ足を運ぶようにしています。現地へはフライヤーも持参して、揚げたてのドーナツやメンチカツを配り、仮設住宅や福祉施設の方々に喜んでもらっています。実は仮設住宅の台所はとても狭く、火事の心配もあるため、どの家でも揚げ物をしないようにしているのが現状です。そこでパン屋として何が出来るか考えたところ、「ドーナツなら揚げたてを振舞える」と、震災直後から活動を始めました。また、お店としては、1カ月のうち「3」のつく日を食パンの耳にかけて、「パンの3.3(ミミ)プ

ロジェクト」と称して、食パンをはじめとした対象商品を買くと売上げの3.3%を東北支援に回すキャンペーンも行っています。

実はここ那須塩原も、震度6弱を経験した東日本大震災の被災地です。あの日はわが社でも壁にヒビが入り、オープンもひっくり返りました。それでも2日後には仮設で電気を持ってきて、「パンの缶詰」の製造を再開しています。「阪神・淡路大震災の被災者の声から生まれた缶詰が、今こそ役立つ」と、社員総動員で頑張りました。この時の経験や、その後ずっと続けている東北支援は、社員にとってすばらしい「学び」になっています。社員のレポートを読むと、「人間がひと回りもふた回りも大きくなったなあ」と感動しますよ。経営者としても、「彼らをすばらしいパン職人に育てなくちゃいけない」と改めて思う、良いきっかけになっています。

PRESENT

**おいしくてやわらかい防災備蓄パン
「PANCAN」をプレゼント**



特殊な製法でパンのおいしさとやわらかさをそのままに、長期保存を可能にした防災備蓄パンです。アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名様に10缶セットをお送りします。

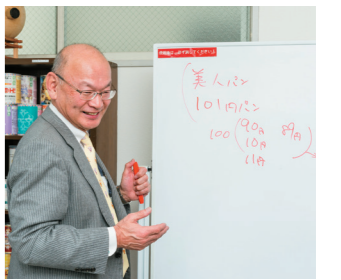
**誰でも、
どんな会社でもできる
社会貢献の**



地方の小さな町のパン屋さんが始めた「救済鳥プロジェクト」。「社会貢献」というと、大上段に振りかぶってしまい行動に移せない企業も多い中、着実に世の中を変えるパン・アキモの秋元社長に、どんな企業でも取り組める「社会貢献のイ・ロ・ハ」を教えてくださいました。

1 気配りと笑顔の延長線上にあるのが社会貢献

毎日パンを焼いていると、焦げたり、見かけが悪かったりと、不細工なパンがどうしても必ず混じります。お客さまは綺麗な見かけの良いパンから買っていきますから、残るのは不細工なパンばかり。しかし、それを買わざるを得ないお客さまもいます。そんなお客さまは「同じ値段なのに損したなあ」と思っているかもしれない。それをいやすのは、店員の細やかな気配りと笑顔しかありません。「最近いかがですか?」といった何気ない声かけや笑顔が、お客さまの気分を軽やかにする。社会貢献は大きさに考えるものではなく、この気配りの延長線上にあると私は思っています。日常のビジネス周りよりも少し広いところで気配りをすれば、社会貢献は誰でもできるし、できることを発見できます。



2 「社会性」という魔法のふりかけをかける

「救済鳥プロジェクト」にしても、「パンの3.3(ミミ)プロジェクト」にしても、「コンロールプラン」にしても、社会性のある取り組みだと思いませんか? 私はこれを「社会性というふりかけをパンにかけているんだ」とよく冗談で言います(笑)。民間の会社ですから、利益を上げるのが最大の目的です。ただしそれだけではなく、社会の特にハンディキャップのある方たち向けに、ちょっと優しいコンセプトで商品を開発したり、イベントを企画したりする。私は「本業の周辺で見返りを求めないお返し活動をする」というのですが、これをスポットではなく、継続的に行えば、業界でもコミュニティでも一目置かれる企業になれるのではないのでしょうか。



3 パン屋でもできたのだから、気楽に始めてください

いくら立派な社会貢献をしても、それが自己満足に終わってはいけません。それを世の中に積極的に発信して、本業につなげていく広報活動が大切です。その意味では、私たちのような小さな会社は広報にコストをかけることはできませんので、うまい具合に社会性をまぶした話題を提供して、マスコミの方から取材の声がかかるように気を使っています。私たちが極力メディアに出るようにしているのは、地方にある小さな町のパン屋でも社会貢献ができたのだから、誰だって、どんな会社だって、いろいろとできることはあるはずだと考えているからです。あまり難しく考えず、気楽に始めてほしいと思います。



建柱工事の安全性・効率性を高める分割柱把持具導入

分割柱把持具YD700

株式会社SYSKEN 様

課題

1. 共架柱の建柱作業における、建柱車（ブーム）の高圧配電線接近作業を軽減したい
2. 電柱の吊り位置を下げる場合の、電柱吊り姿勢のバランス取り
3. 分割柱作業において電柱が傾くと継ぎ目が合わせ難く、作業に時間がかかる

効果

1. ブーム起伏角度を抑えながら、充分な高さまで吊り上げ可能
2. 従来より支点に近づけた吊り位置でも電柱が安定し、配電線などへの接触リスクが低減
3. ほぼ垂直に保持でき、継ぎ目が平行になるので作業時間短縮

会社概要

社名：株式会社SYSKEN
 本社所在地：熊本県熊本市中央区萩原町14-45
 設立：1954年（昭和29年）9月
 事業内容：電気通信設備工事業、一般土木工事業及び電気通信材料・工具等の販売業ならびに情報処理サービス業など
 従業員数：571名（2016年3月末現在）
 資本金：8億100万円
 URL：<https://www.sysken.co.jp/>



施工本部 アクセス部 積勝将 担当課長



分割柱把持具を使った作業の様子 ※今回の取材では安全に配慮し、研修施設内で模擬柱を使用しています。

1本柱にはない分割柱ならではの難しさ

近年の電気通信設備の現場では、住宅街や繁華街などの密集した地域での工事が増えているという。しかし、道路が狭く曲がりくねった現場に、13~17mもある長い電柱を運び入れるのは容易ではない。そこで運搬性に優れた分割柱が導入されるようになった。2014年頃から九州でも分割柱による建柱工事が行われるようになり、SYSKEN様では早速、その施工方法の検証を始めた。その結果、電柱が分割されたことによる新たな問題点が浮かび上がってきた。

「最初に穴に入れる分割柱の下半分の電柱

（下柱）は、すんなり設置できます。しかし、上半分の電柱（上柱）をつなぐのには注意が必要でした。電柱が短くなった分、クレーンワイヤーで吊り上げる位置によっては電柱がかなり傾き、電柱の継ぎ目（フランジ）を合わせ難いのです。電柱の上部を吊ってほぼ垂直にすれば合わせやすくなりますが、そうするとブームの先端が高くなり、配電線に近づくので危険です」と通信設備工事を担当する施工本部アクセス部の積勝将担当課長は語る。

思いついたのは、電柱の上部を挟んで、より垂直に近い状態で吊るというアイデアだった。

分割柱工事の課題解決のため新たな器具を開発

積さんは早速、SYSKENグループに多くの穴掘建柱車を納入実績のあるアイチコーポレーションに相談。ブームの先端に装着して、電柱の上部を支えるための器具「分割柱把持具」の開発はこうしてスタートした。アイチコーポレーションが試作、SYSKEN様が実地検証し、改良を重ねていった。そして1年半にわたる開発期間を経て「分割柱把持具YD700」が完成した。

「分割柱把持具YD700」は、穴掘建柱車D50A・D70Aに装着して使用する。吊り上げた電柱を、把持具へ軽く押し込むことで二重ロックがかかり、電柱を把持する仕組みだ。電柱を強く掴むのではなく、沿わせるようにソフトにガイドしているだけなので、クレーンワイヤーの操作で電柱を自由に動かせ、上下を接続する際の微調整も容易にできる。同社の検証では、継ぎ目を合わせる作業時間が5、6分短縮され、作業効率の向上が見込めると

いう。また、穴掘建柱車のブーム高を抑えられ、配電線に近づくこともなくなり安全性も向上する。

NTT西日本様のVE提案認定を受け案件受注の競争力向上

同社では「分割柱把持具YD700」の実証結果を受け、NTT西日本様にVE提案として申請。作業効率・安全性の向上が認められ2017年にVE提案の認定を受けた。VE提案の認定を受けることでNTT西日本様からの信頼も高まり、また競合他社との差別化にもつながるといふ。

同社は、2016年12月に「分割柱把持具YD700」を12台導入。今後、分割柱によるインフラ設備の構築が増加していくことを見越して、訓練施設で分割柱の建柱工事に関する様々な検証を行っている。同社はそのトップランナーとなるべく、把持具を活用した安全で効率的な工事手法の確立に日々取り組んでいる。



穴掘建柱車への把持具の装着は5、6分で終わる



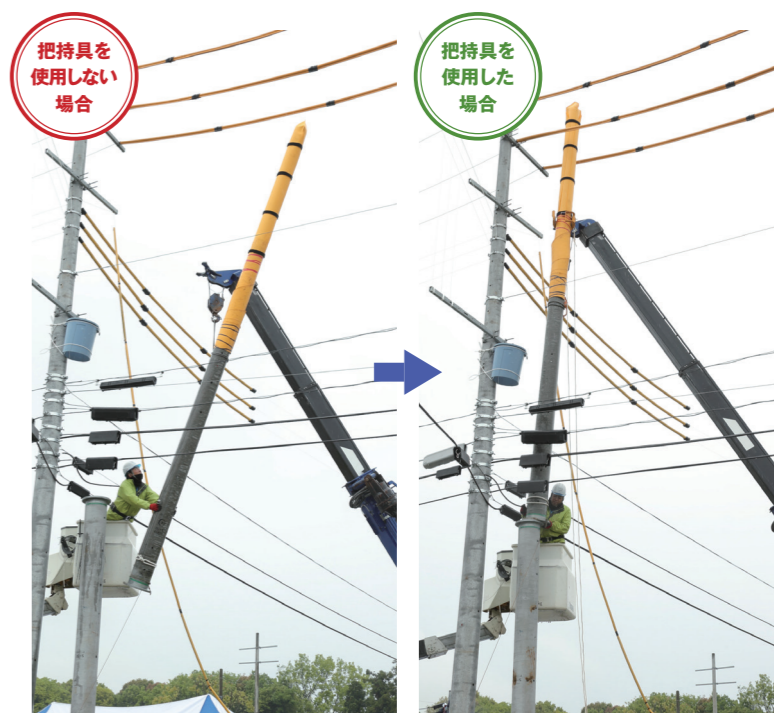
穴掘建柱車ブーム先端への取り付け状態。両サイドに取り付けできる

厳しい緊張を強いる現場でこそ生きる安心感

これまではプレを抑えるために、高所作業車のバケットの作業員に吊り下げた電柱の下部を持たせておいて、さらに下で作業員が電柱に付けたロープを引っ張っていました。今度予定している現場は歴史的な街並みを残す地区なので道幅も狭く、民家の軒も張り出しています。絶対に電柱をプレさせることができない場所でこそ、把持具が活躍します。安心して作業に臨めますね。



協力会社 明正電設株式会社 天草営業所 齊藤 博伸 主任



写真のように把持具を使用しない場合は、分割柱の上柱がプレやすく、垂直にするのにも苦労する

電柱がほぼ垂直になるので、真っ直ぐ下柱の上を上柱を移動させて下ろすだけ。把持具がきつく固定されていないため、バケットの作業員が自由に電柱の位置を微調整でき、上柱と下柱の線を合わせやすく、フランジをボルトで締める作業もラクになる

狭小な現場で威力発揮！ 2tシャシー高所作業車 「スカイマスター-SN13A1FS」

新登場！



株式会社トーエネック様は、愛知県名古屋市に本社を置く、中部電力グループの電気設備工事、電力関連工事等を行う総合設備企業。今回導入した、スカイマスター-SN13A1FSの現場での使い勝手などについて伺った。

2017年3月に発売された「スカイマスター-SN13A1FS」は、道幅の狭い地域など省スペースでの高所作業へのニーズに応じて開発された。納車第1号となったトーエネック様を訪ね、配電統括部 技術グループ 竹村浩一 副長にSN13A1FSの使用感を伺った。

SN13A1FSの利点として、まず挙げるとしたらどのような点でしょうか。

竹村 省スペース高所作業車としてはアイチの「U423」を使用しています。1994年に第1号機を導入してから、現在も36台稼働していますが、法改正により約5年前に製造中止になってしまいました。今回の設備更新にあたり、U423の設計を基にしたSN13A1FSの発売を聞き、導入を決めました。導入を決めたポイントは、やはり狭い道路でも車両の取り回しが容易な点です。配電線工事にさらなる効率化が求められている中で、高所作業車はなくてはならない存在。昔ながらの集落、漁村、山間部は道幅が狭く、軒が道路へ出ている場合もあります。SH15Bが入らない場所へも、車幅が狭く車高も低いSN13A1FSなら現場まで入って行けるという利点がありますね。



株式会社トーエネック
配電本部 配電統括部 技術グループ 竹村 浩一 副長

U423に比べて使いやすくなったと感じる部分はありますか。

竹村 アウトリガーの張り出しが3段階から4段階に変わったので、占有スペースをより有効に使った作業範囲を確保できるようになりました。また、現場では大型パッドベース採用によって、ジャッキベースを設置するひと手間を省けたことが好評です。特に狭い場所ではジャッキベースを設置することすら難しかったので、大変助かっています。他にもバケットに乗り降りする時の足場の滑り止

●大型パッドベース



ジャッキを降ろすだけで設置が完了、重いジャッキベースを設置する手間が省ける

●上部操作装置



主力車両のSH15B/SN15Bとコンピュータを共通化、同じ感覚で操作できるようになった

め加工や、スカイマスター-SH15Bシリーズと操作装置を共通化し、SH15BやSN15Bに慣れた技術者にも操作しやすくなった点など、技術者にとって使いやすい機能が多いと感じています。

バケット内部のバッテリー充電器も変わったそうですね。

竹村 容量が以前と比べ、24Ahと大きくなりました。バッテリーの持続時間が長くなったので、お陰さまで作業はかどります。

●バケット昇降足場の滑り止め加工



靴底が濡れていても滑らず、安心してバケットに乗降できる

●下部操作装置



●現場の声



株式会社トーエネック
甚目寺営業所
高橋 和弘 所長

SH15Bが入らないような狭い場所では、SN13A1FSと軽トラックを入れて作業を行います。重量物を扱う時は、最大吊り上げ荷重490kgのウインチを活用する場合と人力で上げるのでは、技術者の負担が大きく違います。

また直接電柱に昇らずバケットの中で作業できるので、感電や墜落のリスクを軽減できます。



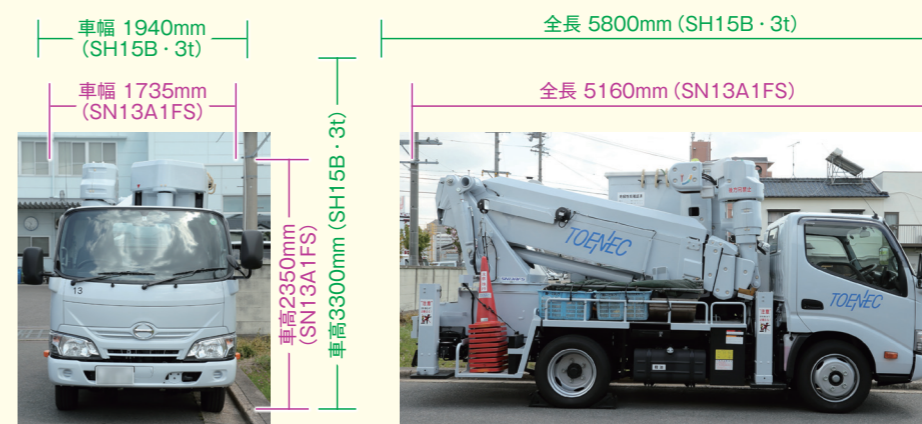
株式会社トーエネック
甚目寺営業所
中山 翔太さん

立地が良く工事しやすい場所なら、高さのあるSH15Bの方が良いですが、狭い場所や条件が悪い場所なら、小回りの利くSN13A1FSの方が使い勝手が良いですね。道路側からのアプローチがメインになりますが、SN13A1FSは多関節アームで電柱の裏側にも回り込めるので、無理な体勢で作業を行う必要がありません。これからは多関節アームが主流になると思います。

2tシャシー SN13A1FSのメリット

トーエネック様が、配電線工事で主力として使用しているSH15B (3tシャシー) と比較し、SN13A1FSのメリットを紹介する。

1 コンパクトな車体



車体幅が1735mmとSH15Bに比べ約200mm狭く、最小回転半径も5500mmと小回りが利くため、SH15Bでは進入できなかった場所でも使用可能。また同じ道幅でも、SH15Bよりアウトリガーを1段階大きく張り出せるため、より安全な工事ができる。バケットはキャビンの後ろに格納されるため、SH15Bに比べ車高が約900mm低くなり、道路に張り出した軒の下も通れるようになった。

2 ブーム旋回が容易



ブームが4段あり、最も縮めた場合、長さがSH15Bより約2000mm短くなり、ブームの旋回をラクにできる。

3 小さなバケット&多関節アーム



バケットサイズが小さいため、電線が輻射した現場でも移動がしやすい。また、多関節アームの採用で、電柱の裏側にも容易にアプローチできる。

※数値は仕様・年式により異なります。

高所作業車上を移動する際の転落を防止！「アシストレール」



宮城県仙台市に本社を置く株式会社ユアテック様は、東北電力様の電力流通設備の建設、維持や修繕を主力事業とする総合設備エンジニアリング企業。配電工事の現場で高所作業車の架装部上を移動する際、安全帯フックを掛け替えず連続移動ができる「アシストレール」を積極的に装備して、作業員の安全性を向上させている。

「アシストレール」は、ユアテック様とアイチコーポレーションが共同開発した、高所作業車転落防止補助具（特許第5913865号「高所作業車」第58回溢澤賞）。既存車両への後付けも可能なこの器具について、本社配電部に開発経緯などを伺った。

アシストレール開発の経緯について伺えますか。

作業員がバケットに乗る際、ブームに設置してある手摺りに安全帯フックを取り付けて車上を移動することがルール化されてきました。しかし、何回も掛け替えを行う必要があり非効率でした。また、架装部上で滑るというヒヤリハットもあり、それらを改善する

ためにアシストレールを開発したのです。送電線鉄塔昇降時の落下防止補助具として使用されていたものを、高所作業車用に改良して転用したもので、2008年頃に開発を開始し、2009年から実用化しました。

アシストレールを使うことで、以前と比べてどのような点が変わりましたか。

アシストレールにより、地上から取り付けられた安全帯を掛け替えることなくバケットまでの移動が可能になったことから、掛け替えの手間が省け安全性も向上しました。

高所作業車への装備状況を教えてください。

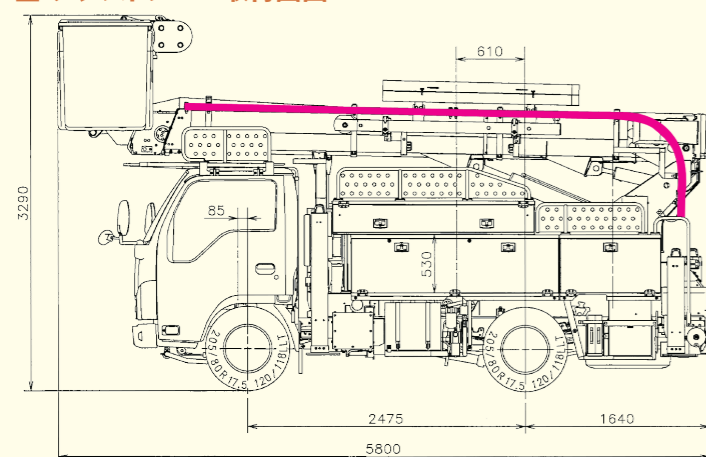
導入当初は既存車両への後付けを行い、

現在はユアテック配電部門の標準仕様として、車両更新の都度、アシストレール付き高所作業車を配備することとしています。

アシストレール以外で高所作業車を対象に行われた安全対策はありますか。

バケットの安全帯ロープ取付確認装置は全ての高所作業車に導入しています。また、一昨年と昨年で、高所作業車と穴掘建柱車の全車に、後方が見えるようにバックモニターを取り付けました。ドライブレコーダーも装備しています。今後も安全性向上への取り組みを推進していく予定です。

■ アシストレール取付図面



■ アシストレールの主な仕様

	普通型 (SH15B)	多関節型 (SN15B)
全長 (mm)	5,100	3,400
総重量 (kg)	38	30
レール重量 (kg)	21.7	16.8
取付金具重量 (kg)	16.3	13.2
取付金具個数 (個)	4	3
主な材質 (レール)	アルミ合金	

「アシストレール」の使用方法

◎現場の声



高所作業車からの転落を防止する「アシストレール」。バケットへの乗り込みまでを、SH15Bを使って実際に行っていたいた。

1 安全帯フックを掛ける



地上からアシストレール上にある安全器へ安全帯フックを掛ける。

2 架装部への乗り込み



安全器は、上側（バケット側）に倒すとフリーになり可動で、下側（地上側）に倒すとブレーキがかかる。

3 架装部上を移動



安全器をアシストレールに沿わせながら架装部上を移動する。

4 バケットに乗る



バケットの安全帯ロープ取付確認装置に安全帯フックを掛け替える。

アシストレールが車両に付いたことで安全に作業が進められるようになりました。安全帯のフックを安全器にかけて、そのまま安全器をレールに沿わせて効率的に移動できます。特に冬期の作業では、工具箱の上が凍っていることがあり滑りやすいので、アシストレールがあることで架装部上の移動に安心感があります。



株式会社ユアテック
仙台北営業所
本橋 義規
副所長兼配電課長



株式会社ユアテック
仙台北営業所
配電課 工事係
菅野 高太さん

20～30歳代に広がる「スマホ老眼」 その予防と改善法

40歳代後半が発症のピークといわれる「老眼」ですが、今20～30歳の若い世代にも、同じような目の不調を訴える人が増えています。この「スマホ老眼」と呼ばれる眼のトラブルについて、眼科専門医の平松類先生に伺いました。



スマホ老眼とは？

休み時間や寝る前にスマートフォン（以下、スマホ）を使っているでしょうか？ スマホ老眼とは、20～30歳代でもなってしまう老眼です。文字通りスマホを長時間使い続けることが原因で起きる症状です。「手が見えにくい」「朝起きにくい」「睡眠が浅い気がする」「夜になると目が疲れる」「肩こりや頭痛がする」という時は要注意です。これらはスマホ老眼の代表的な症状です。

スマホ老眼の判別法

スマホ老眼かどうかを判別する方法として、たとえばこの冊子を見る距離を変えてみてください。どれくらいの距離が見やすいでしょうか？「ちょっと離れた方が見やすい」という場合はスマホ老眼の疑いがあります。通常の老眼でも40歳代後半なら普通は30～35cmで見えます。20～40歳代前半でそれより離れた方が見やすい場合はスマホ老眼を疑ってください。

通常の老眼は加齢による眼の機能低下が原因ですので、症状を改善することは容易ではありませんが、初期のスマホ老眼はスマホの使い方などの生活習慣に気を付けることで治すことができます。

スマホ老眼の対処法

ではどうすれば良いのでしょうか？ スマホ老眼になる原因はもちろんスマホですが、問題はその使い方にあります。特にブルーライト・スマホとの距離・まばたきの回数という3つに気を付けましょう。

(1) ブルーライト

ブルーライトとは、スマホのディスプレイ照明に含まれている青色の光で、他の光成分に比べ目にダメージを与えやすい光です。さらにブルーライトを夜浴びると、脳は「朝なのか」と判断し、「深く眠らないでおこう」と体が反応してホルモンの分泌が悪くなり、眠りが浅くなるのです。結果として眠った気がせず、朝起きにくくなってしまい、疲れも取れません。

対処法としては、スマホの「ブルーライトを抑えるモード」機能やブルーライトを軽減するアプリ、ディスプレイ保護フィルムを使って影響を軽減するなどがあげられます。またディスプレイの明るさを出荷時よりも暗めに設定することも有効です。さらに就寝前の30分はなるべくスマホを使わないようにするのも大切です。

(2) スマホとの距離

スマホは文字が小さく、光っているので近づけないと見えにくい、本や雑誌に比べて10cmほど近づけて見てしまうということが分かっています。眼のピントを調整する筋肉（毛様体筋）は、遠くを見るよりも近くを見る方がより強く緊張しているため、そうした状態が長く続くと筋肉が凝ってしまい、スマホ老眼の症状が現れます。文字を大きく設定するなどして、スマホとの距離を少しでも離して使うよう意識することが大切です。

(3) まばたき

人間は、ぼーっとしている時は1分間に20回程度のまばたきをしています。しかしスマホに集中している時には、それが6回程度とかなり減ってしまいます。まばたきの回数が減ると目が乾きやすくなり、目が疲れる原因となります。人間はまばたきをすることで目を休めているのです。スマホを長く使う時は意識的にまばたきを試みましょう。

運転をしている時や、高度な機械操作など集中して作業をしている時にもまばたきの回数が減ります。普段の仕事の中でも意識してまばたきをすることで、目の疲れを抑えることができます。

100円メガネで目のストレッチ



100円均一ショップで売っている+2度の老眼鏡を使って簡単に毛様体筋の凝りをほぐす方法があります。この老眼鏡をかけて1m以上離れた景色やポスター、テレビなどをリラックスして5分間眺めるだけ。コンタクトレンズや眼鏡を使っている人はその上からかけてください。ぼんやりとピントの合わない状態をつくることで、毛様体筋のストレッチとなり、視力を回復することができます。この方法はスマホ老眼に限らず、一般的な目の疲れや近視の改善にも効果があります。

平松 類（ひらまつ るい）

平成15年 昭和大卒業
平成15年 昭和大眼科学教室
平成20年 三友堂病院眼科科長
平成24年 昭和大助教
平成24年 彩の国東大宮メディカルセンター 眼科部長
昭和大兼任講師

スマホ老眼特設サイト
<http://www.smahorougan.com/>



弊社創業者 鈴木作次郎「お別れの会」を執り行いました

2017年2月11日に逝去された弊社創業者 鈴木作次郎元社長のお別れの会を、2017年4月18日にパレスホテル東京（東京都千代田区）にて執り行いました。

各業界のお客さまをはじめ、故人にゆかりのあった約350名の方々に参列を賜りました。

謹んで、故人のご冥福をお祈りいたします。

■鈴木作次郎氏 略歴

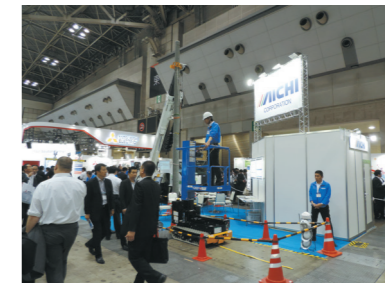
1916年（大正 5年）	4月15日 栃木県塩谷郡に生まれる	1962年（昭和37年）	愛知車輛株式会社を設立 社長就任
1943年（昭和18年）	東邦特殊自動車入社	1987年（昭和62年）	東京証券取引所第1部上場
1955年（昭和30年）	日本自動車工業入社 （後の東急くろがね工業）	1992年（平成 4年）	会長に就任
		2001年（平成13年）	相談役就任

INFORMATION

展示会への出展情報

JECA FAIR 2017 「第65回電設工業展」に出展しました

- 日時：2017年5月17日～19日
- 会場：東京ビッグサイト
- 展示内容：穴掘建柱車 D50A ハイブリッド仕様
分割柱把持具 YD700
電線仮支持装置 YE302
自動案内機能付屋内用小型高所作業車
（日本電設工業株式会社様との共同開発品）
- 当社ブース来場者数：約900名



「国際海事展」(パリシップ2017) に出展しました

- 日時：2017年5月25日～27日
- 会場：テクスポート今治 ほか
- 展示内容：小型高所作業車 SV08E1NL
自走式重荷重量高所作業車 WZ09ASM
- 当社ブース来場者数：約270名



ホームページを リニューアルしました

2017年4月に、弊社ホームページをリニューアルしました。（ホームページアドレスは変更ございません）新たにCABIN/バックナンバーの閲覧・ダウンロードページも設置しましたので、ぜひご覧ください。（<https://www.aichi-corp.co.jp/service/cabin>）

スマートフォン、タブレットをお持ちの方は、このコードを読み取りください。▶



災害 シミュレーション

高所作業車の作業中に発生した、 はさまれ・巻き込まれ事故

機械化車両を使用した作業は安全面での利点が多い反面、取扱いや操作を間違えると重大災害につながりかねません。今回は近年、高所作業車を起因とする災害発生件数の約4割^{*}を占めている「はさまれ・巻き込まれ」の事例を中心に、重大災害の再発防止策を考えます。

※出典元：平成21年～26年、中央労働災害防止協会統計資料より

CASE 1

発生状況

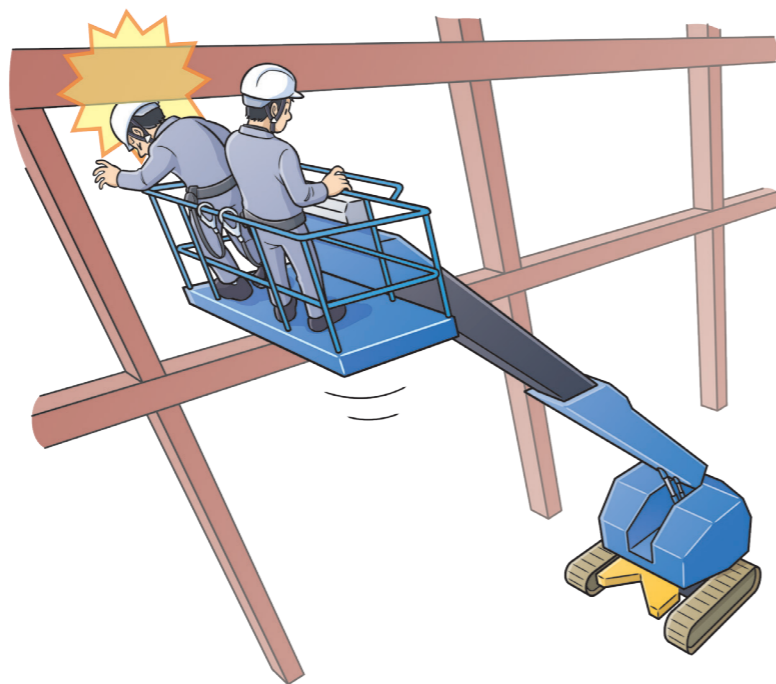
工場建屋の建築現場で自走式高所作業車のバスケットに2名乗車し、1人が作業を行い、もう1人が上部操作装置での操作を行っていたところ、操作者が操作を誤り、作業中の者がバスケットと梁との間にはさまれた。

原因

- 1 操作者がバスケットを高速で移動させた。
- 2 操作者が作動方向や周囲の確認を怠っていた。
- 3 安全作業手順を徹底していなかった。

対策

- 1 障害物の周辺では、バスケットの移動操作は低速で行う。
- 2 作業計画、および安全作業手順などを作成しておき、作業関係者へ周知しておく。
- 3 高所作業車を使用する者に対し、安全教育を実施する。



CASE 3

発生状況

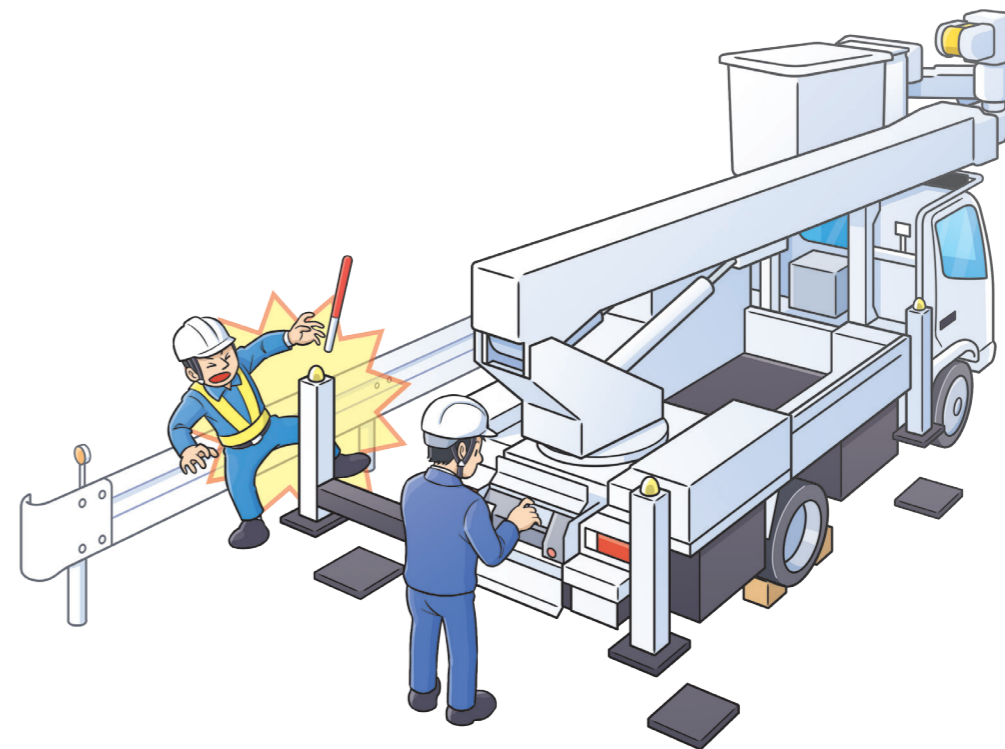
車両後方で車両右側後方のアウトリガーを張り出そうとして操作を誤り、反対側（左側）のアウトリガーを張り出した。車両左側後方で歩行者の誘導をしていた警備員が、アウトリガーとガードレールとの間にはさまれた。

原因

- 1 周囲への声掛けを行っていなかった。
- 2 切り替えレバーの操作方向をよく確認していなかった。

対策

- 1 アウトリガーの張り出し・格納時は、周囲に声掛けを行い注意を促す。
- 2 張り出し・格納時には、操作を行う者以外は車両から離れ、安全な位置に退避する。
- 3 レバーを操作する前に、目的のレバーであることに間違いがないか、確認してから操作する。



CASE 2

発生状況

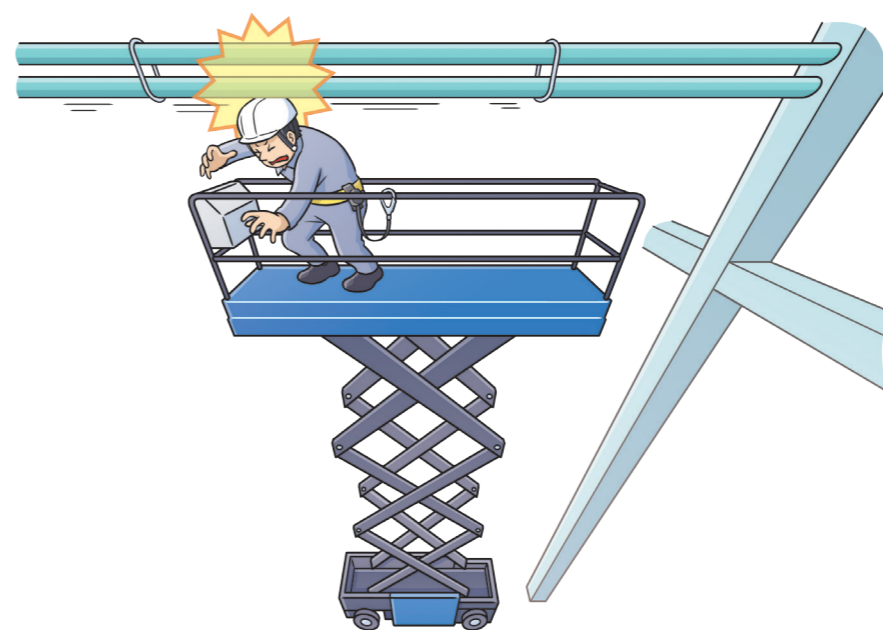
作業者が工場内で小型高所作業車を使用し、照明器具の交換作業中、作業床が急に上昇。近くの配管と作業床の手すりとの間に首をはさまれた。

原因

- 1 作業者が作動方向や周囲の確認を怠っていた。
- 2 作業者が操作に不慣れであり、操作を誤った。
- 3 作業床に搭載していた機材が何らかの原因で操作レバーに触れ、誤作動した。

対策

- 1 レバーの操作前に作動方向の目視確認を行う。また、事前に作業場内の状況確認を行う。
- 2 作業床に積まれている機材などの整理整頓を行い、搭載機材が操作装置に干渉しないよう注意するとともに、作業床では無理な姿勢での作業を行わない。
- 3 作動停止装置を活用する。



作業現場においては、機械化車両の作動範囲や特性を知っておくこと、また決められた作業手順に則ること、災害の未然防止につながります。普段から使い慣れている作業車であるからこそ、どんな場合に危険な状況に陥ってしまうのかを作業開始前や休憩時間などに考える機会を定期的に設け、災害につながる動作を避けるようにしましょう。

協力：株式会社 アイチ研修センター

「安全」と「社員」 2つの“第一主義”を貫く

株式会社 光和電設 様 代表取締役 荒明様(宮城県亘理郡)

ユアテック様の協力会社として、電力インフラを支える業務を行うのが株式会社光和電設様だ。荒明社長は笑いの絶えない楽しい方で、社業を盛り上げるとともに、業界全体の発展にも大いに汗をかく。現会長から経営を引き継ぎ、同社を新たなステージに引き上げようと奮闘する荒社長に、ご自身を採点していただいた。

CABIN創刊号から33年 着実な成長の足跡

今号で91号を数える本誌。その記念すべき第1号(昭和59年1月発刊)に登場していただいたのが、今回お邪魔した株式会社光和電設様の現会長・荒秀夫氏だった。秀夫氏は昭和43年、27歳の時に同社を創業。その後福島県相双地区を活動エリアとする光洋電設様も設立し、宮城県のみならず東北の発展にも寄与してきた。現在、両社の経営のバトンは、秀夫氏の長女・優子さんと結婚された荒明社長に手渡されている。

創刊号の取材から33年。現在も同じ敷地にある社屋は、100人以上収容できる会議室を備える立派な建物に様変わりした。社員数も当時の約2倍。両社合わせて100名を超える規模になっている。所有する工事車両も、光和電設様では3倍近くに増えた。これらの数字だけでも、2代目の荒社長が引き継いだ同社の充実ぶりがよく分かる。

現在は、東北電力グループの総合設備会社であるユアテック様関連の工事が7割、残り3割が国土交通省などからの仕事となっている。創業から続くユアテック様からの厚い信頼を柱にして成長を遂げた同社は、協力会社の中では技術的にも規模的にも頭ひとつ抜け出したリーダー的な存在だ。また、仙台市の冬の風物詩として有名な「SENDAI



CABIN創刊号取材時の本社屋と荒秀夫会長

光のページェント」では、昭和61年の第1回目から何十万個にもおよぶ電球の設置を一手に引き受け、地域社会にも大きな貢献をしている。

「20年ほど前は、サンタクロースの格好をして電球を取り付けました。木の上で作業している時はいいんだけど、降りてきたら恥ずかしくて、恥ずかしくて…」と、当時は懐かしみながら苦笑する荒社長。荒社長は高校を卒業した昭和63年、光洋電設に入社。新入社員当時は、秀夫氏とともに電柱を運搬する仕事に携わった。「見かけはちょっと怖かったけど、しゃべると優しい」と当時社長であった秀夫氏の印象を語る荒社長だが、その秀夫氏が“お義父さん”になるのは6年後のことである。

「後ろ姿」に学ぶ創業者の教え

「荒家」に籍を入れ、優子さんと結婚したのが、荒社長が24歳の時だった。実は優子さんとはたまたま中学校の同級生だったことから、遊び仲間に。それが恋に発展した。

「結婚はなかなか許してもらえませんでした。ある時なんか、正式にご挨拶しようと家に伺うと、会長が急に行方不明になったりして…(笑)。会長は子どもが娘2人だけだったので、手元から離すのがさびしかったのだと思います」。

姓を変えたことで、当然同社の2代目として将来会社を背負う自覚と覚悟はできていた荒社長だが、当時はまだ入社6年目の身。まず現場の仕事をしっかりこなすことが一番で、目の前の仕事に邁進した。

「現場で一から仕事を覚え、班長やって、課長やって…と、ここまで1歩1歩来た感じです」

平成22年に光和電設の経営を秀夫氏から引き継ぐと、その3年後には光洋電設の代表取締役に就任。名実ともに、2代目として両社



光和電設様と光洋電設様の合同写真(2014年1月6日)

を引っ張る立場になる。

2つの会社を興し、軌道に乗せた秀夫氏の手腕は、業界でも一目置かれる存在だった。

「『ケガをさせてはいけません』と、常々安全に関しては耳が痛くなるほど聞かされています。社長になった当時、私は40歳そこそこ。まだ若造でしたから、創業者として本当は言いたいことが山ほどあったと思います。でも、黙って任せてくれました」。

その度量の大きさに感謝しつつ、入社以来、会社を陣頭指揮で引っ張る秀夫氏の後ろ姿から学んだもの一つひとつ、意識的に引き継いできたと荒社長は語る。たとえば、作業の効率性を図り、安全に寄与する工事車両に対する考え方もその一つだ。冒頭で紹介した本誌創刊号で秀夫氏はこう語っていた。

『どこもまだ持っていない最先端の機械を使うことによって、常に質の高い仕事ができます』。

その言葉通り、秀夫氏の時代も、荒社長になってからも、新たな機能を装備したアイチの車両が発売されると、同社にはいち早く導入いただいている。とくに荒社長にはいつもフル装備のものを使っていたと、次の製品開発に生きる貴重なご意見を伺うのが常である。

「アイチさんにとっては耳が痛いかもしれませんが…(苦笑)。ただ、車両に限らず、優れたものをどんどん使っていこうというのは、会長時代からのウチの良い伝統だと思います」。

熱い“社員想い”の数々

取材の最後に社員の方々の集合写真を撮っている時、荒社長と奥様・優子さんとの軽妙なやりとりで事務所は笑いが絶えなかった。失礼ながら、少々寡黙な荒社長のボケと、にぎやかな奥様のツッコミは絶妙で、感心させられました！身近なところで名コンビの荒社長を奥様からご覧になっていて、いかがですか？「一番感心するのは、社員への思いやりです。社長は現場で一から叩き上げられてきましたから、人に使われる大変さをよく知っている。そのことが、“社員想い”につながっている気がします」。

ユアテック協力会社の配電部会で役員を務める荒社長は、自社でも労働環境や待遇の改善に積極的に取り組んできた。いまでは業界のお手本として、他県から見学者が訪れるほどの優良企業となっている。そのベースにあるのは、社員に対する荒社長のそんな細やかな心配りだ。

たとえば、今年の冬、荒社長は暖房服を社員に配布した。首回りや背中を暖めるヒーター付きの暖房服は、特に夜間作業には有難い一品だ。逆に夏の暑さを乗り切るため、ファンの付いた空調服も同社では昨夏から導入している。

「いやあ、暖房服が社員に好評で、好評で、うれしいですね(笑)。この業界、『寒いから、暑いから』といった、労働環境を理由に辞めていく人間が結構いるんですよ。私はそんなことでこの仕事の醍醐味や面白さを捨ててもらいたくない。それなら、少しでも働きやすい環境を作ってあげようと思っています」。

荒社長の“社員想い”は東日本大震災の際にも発揮された。会社のある亘理町は震度6強の揺れに襲われ、津波でも甚大な被害を受けた。幸い同社では人的被害はなかったが、停電は一帯で10日ほど続いた。その間、荒社長と優子さんは炊き出し係として、復旧支援でなくてご舞いの社員たちのために朝食と夕食を用意。2週間会社に泊まり込んで、公私を問わず、社員をバックアップした。

「“安全第一”と並んで“社員第一”もわが社の社是です。『オレがいるから、会社がある』のではなくて、『社員がいるから、会社がある』。これを肝に銘じて、会長が作ってくれた会社をもっと発展させたいと思います」。

“社員想い”度では、誰が見ても満点の「5」。創業者が築いた伝統をベースに、光和電設様には2代目の新たな風が吹き始めている。



「2016SENDAI光のページェント」では160本のケヤキに60万個のLEDを取り付けた



奥様の優子さんと名コンビで事務所は笑いが絶えない

DATA&社長の略歴

配電設備・建柱、太陽光発電等の工事一式

略歴

- 昭和44年 福島県相馬市生まれ
- 昭和63年 光洋電設株式会社 入社
- 平成22年 株式会社光和電設 代表取締役就任
- 平成25年 光洋電設株式会社 代表取締役就任

荒社長への通信簿

社長をよく知る2人に5段階評価で採点していただきました。



田代 富雄さん
勤続7年
配電課班長

荒社長の「気配り力」に **5**

安全に関するルールにはとても厳しい、まじめ度100の社長です。一方で、暖房服をどの会社よりも早く導入してくれるような、優しい一面もあります。暖房服はうちの班が夜間作業で“いの一歩”に使いました。翌朝、メールで早速社長から「どうだった？」と感想の催促が来て、「最高に素敵でした！」と返事したら、1日中本当にうれしそうでしたね(笑)。社員に対する気配りは最高です。

*



吉田 沙紀さん
勤続10年
事務

荒社長の「カップル力」に **5**

相談すると、何でも一緒に同じ目線で真剣に考えてくれる、頼り甲斐のある、優しい社長です。何よりも私が感心するのは、優子さんとの名コンビぶり。2人がいらっやると、事務所は一気に明るくなります。また社長が不在の時は、優子さんがしっかりフォローして、頼もしい限りです。このラブラブな2人の二人三脚ぶりが素敵です(笑)。

本社	〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下1152番地の10	048(781)1111(代)
営業企画部	〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下1152番地の10	048(781)2672(代)
ライフスタイルサポート部	〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下1152番地の10	048(781)3715(代)
北日本支店	〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町3-4-8	022(236)0421(代)
北日本支店北海道	〒063-0834 北海道札幌市西区発寒十四条4-2-70	011(665)1301(代)
関東支店	〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰1-15-4	048(852)1104(代)
中部支店	〒459-8001 愛知県名古屋市長区大高町丸の内70-1	052(621)5112(代)
中部支店北陸	〒930-0177 富山県富山市西二俣354	076(434)2181(代)
関西支店	〒532-0027 大阪府大阪市淀川区田川3-9-56	06(6307)4567(代)
中四国支店	〒739-0151 広島県東広島市八本松町原10852-57	082(429)2011(代)
中四国支店四国	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分59-7	087(874)0808(代)
九州支店	〒811-2207 福岡県粕屋郡志免町南里2-26-1	092(935)5353(代)
サテライト沖縄	〒900-0014 沖縄県那覇市松尾2-17-29タウンコート玉商B棟6-G	098(867)7337(代)

国内関連会社

(株)アイチ研修センター 〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下1152番地の10 048(725)4441(代)

株式会社 アイチ コーポレーション

<http://www.aichi-corp.co.jp/>

